ひばり

一般社団法人 東員町文化協会 広報

第98号

令和5年9月発行

第30回春の文協まつり芸能祭より

特別寄稿

東員囲碁同好会代表

平田　晋介

東員囲碁同好会（会員20名）は、毎日曜日に笹尾コミュニティセンターで熱戦を繰り広げています。

当同好会はネオポリス団地ができた直後に同好会として発足、現在は笹尾地区だけでなく町内全域から愛好者が集まり交流の場を広げています。

東員町文化協会が主催する囲碁大会は平成二年にスタートし三十年間継続して開催しております。参加者は町内と四日市市、桑名市、いなべ市などから約１００名近くあります。東員町文化祭だけでなく、春の文協まつりにも開催しております。

しかし3年前に発生した新型コロナウイルスの感染症の拡大により、当同好会の主催する中日新聞社楯争奪囲碁大会を含め3年間中止することになり本当に残念でした。令和5年度は7月に前述の大会を実施し、文化祭と春の文協まつりの囲碁大会も実施する予定です。

囲碁は大局観のゲームと云われており局地戦のみに没頭すると、いつの間やら相手の地が強固に拡大したりします。３６１路全部に目が行っていないといけないのです。日常生活でもこの教訓が活き、小事にクヨクヨせずしかし疎かにせず、かつ視野を広く持つことさらに付け加えると「明るく、あせらず、青空の如く」この心境でいけば、〝楽しきかな囲碁人生〟であります。

最後になりましたが囲碁を習いたい方は是非当会に加入して頂き、一緒に囲碁を楽しみませんか。

略歴

平成十二年四月　文化協会理事就任（三年間）

文協まつり

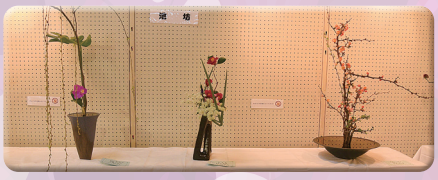
期間　令和5年3月8日(水)～12日(日)
会場　東員町総合文化センター特設会場

第30回春の文協まつりを終えて

無心で作成された大切な思いのこもった作品、私たちは与えられた限られたスペースを大いに活用して企画運営させていただきました。東員の文化は「すごい」との声を励みに、毎回、回を重ねるごとに充実した展示になってきていると思います。

皆様が感染予防対策に協力して頂き、なにより無事故で終了させていただきました。ありがとうございました。

展示プロジェクトチームリーダー
加藤　八重子



目次

特別寄稿……1
第30回春の文協まつり（展示）……2
第30回芸能祭……4
令和5年度通常総会報告……5
続々・歴史よもやま話……6
活動このごろ……7
令和5年度賛助会員……10
会員の文芸作品……11
第56回東員町文化祭予告……12
編集後記……12

第30回 春の

個人展示

特別展示(森 一蔵作品)

公民館講座卒業作品

第30回 春の芸能祭

2023.3.19(日)
於:ひばりホール

第30回 春の芸能祭を終えて

ご来場いただいた皆様、開催にご協力いただいた皆様方に心より御礼申し上げます。

ここ数年コロナ禍で私達芸能部会はレッスンや発表会など困難な状況でしたが、ようやく人数制限解除やマスクを外せる事になり世の中に明るい光が見えて来ました！

笑顔溢れ平和な未来でありますよう願っております。

今後ともご理解、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いします。

芸能祭実行委員長

中西　水季

2023（令和5）年度　東員町文化協会通常総会報告

日時：令和5年5月13日（土）　午前9時30分～10時35分
場所：東員町総合文化センター第1・2講習室

議決権のある会員総数	515名
総会員の議決権の数	515個
出席会員数（委任状による者367名を含む）	410名
この議決権の総数	410個

以下の議案が本協会定款第19条に基づいて可決承認されました。

第1号議案	令和4年度事業報告承認の件
第2号議案	令和4年度収支決算報告承認の件
第3号議案	令和5年度事業計画（案）承認の件
第4号議案	令和5年度収支予算（案）承認の件
第5号議案	定款・定款施行規則改定（案）承認の件
第6号議案	会長専決事項委任承認の件

来賓紹介（順不同・敬称略）

東員町副町長	小　川　裕　之
東員町議会議長	山　本　陽一郎
東員町議会副議長	伊　藤　治　雄
三重県議会議員	石　垣　智　矢
東員町教育委員会社会教育課課長	田　中　　豊

表彰伝達式（敬称略・伝達順）

平　田　晋　介
東員囲碁同好会の代表
「日本棋院普及活動賞」の受賞

故 川　村　光　男
劇団員弁川代表
演芸を通じて東員町の文化発展に尽力

池　田　文　夫
書道第一クラブ・陶芸第一クラブの代表
東員町の文化発展に尽力

東員囲碁同好会	代表　平　田　晋　介
員弁百人一首の会	代表　松　岡　貴　子

両団体とも、大会等を通じて東員町のみならず近隣地域の囲碁・百人一首の普及と発展に尽力されている。

一般社団法人 東員町文化協会 令和５年度役員名簿

役職名	氏　名
会　長	大　貫　正　博
副 会 長	川　松　由喜子
専務理事	平　野　義　人
常務理事	中　村　厚　子
常務理事	水　原　敏　郎
常務理事	吉　田　幸　子
理　事	大　塚　芳　子
理　事	加　藤　八重子
理　事	川　島　絹　枝
理　事	佐　藤　和　寿
理　事	佐　分　　親
理　事	鷲　見　三重子
理　事	藤　田　廣　子
理　事	山　下　順　子
理　事	小　川　義　文
理　事	水　谷　智　子
理　事	木　村　真由美
理　事	服　部　せつ子
理　事	松　野　　宏
理　事	山　田　由紀子
監　事	赤　木　昭　一
監　事	木　村　英　明

（順不同・敬称略）

令和５年度文化協会事業計画

事業名	開催予定時期（令和5年4月～令和6年3月）
１）　総会	令和５年５月13日（土）
２）　東員町公民館講座（町委託・主管事業）	令和５年５月～令和６年２月
３）　東員町文化祭（町委託・主管事業）	令和５年10月28日（土）～11月５日（日）
	10月31日（火）休館日
①展示	前期　10月28日（土）～11月１日（水）
	後期　11月２日（木）～11月５日（日）
②大茶会	11月５日（日）
③囲碁大会	10月15日（日）
４）　春の文協まつり	
①展示	通期　３月６日（水）～10日（日）
②芸能祭（秋・春合同開催）	３月17日（日）
③大茶会	３月10日（日）
④囲碁大会	２月25日（日）
５）　理事研修会	令和５年６月～10月ごろ
６）　広報誌ひばり発行（年2回）	令和５年９月と令和６年２月

続々・歴史よもやま話

其の五

猪名部神社
第二五世宮司
石垣 光麿

「一礼の大義」

コロナ禍により、今年も4年連続で「上げ馬神事」は中止となりました。今年は「本楽祭典」の後、馬曳きで南北に馬場を練り歩き、乗り子が上げ坂に深く「一礼」して、南から北に矢を放ち、恒例の神霊渡御・還御に旅立ち、「御旅所夕御饌祭」が斎行されました。

そもそも大社祭は建久3（1192）年、員弁郡司の員弁三郎行綱が源頼朝の上意に従い、青少年の士気を鼓舞するために、流鏑馬神事を奉納したのが始まりとされています。

建仁3（1203）年、この行綱に伊勢國の守護暗殺の濡れ衣を着せられる災難が降りかかりますが、やがて絶体絶命の危機から疑いが晴れ、これこそ猪名部神社のおかげと境内の一隅に上げ坂を築き神事を奉納しました。これが「上げ馬神事」を行う大社祭の始まりです。

〈四ヵ村の大社祭〉

大社祭は幾度か中断した時期があったものの、10ヵ村を超える多くの地区がこれを支えてきました。

大きな節目になったものとしては大正7、8年のスペイン風邪の猛威を挙げることができます。大正13年の具申書には、「近年まで大社祭に参加してきた地区　大木、八幡、鳥取、大泉、大泉新田、志知、久米」とありますが、大正9年から現在のように南北の両大社と長深、松之木の四ヵ村で大社祭を斎行することとなりました。スペイン風邪の猛威を乗り越えた後、なぜこの四ヵ村が残り、受け継がれたのか。それには大きなわけがあります。

員弁を開拓された方の古墳が「岡古墳」で、開拓された方を御祭神としてお祀りするのが「猪名部神社」です。猪名部神社の御祭神は「伊香我色男命」です。この岡古墳と猪名部神社は真北真南の線上で結ばれ、昔から不思議な聖線（気場）として言い伝えられてきました。

江戸時代を迎えると、八幡神社と長深御厨神明社もこの線上に祀られました。「ここ広いでええやないか」ではなく、建立場所はこの線上でなければならなかったのです。

先にも述べましたように大正9（1920）年から大社祭は四ヵ村で支えることになりました。聖なる線の真北に存する村として「松之木」があり、真南の「長深」、そして南北の両大社です。古代遺物を遺跡としてだけでなく、「鎮守の森」として祈りの場として今も生きている、そこが、素晴らしいところです。

「上げ馬」は真南から真北に気場を駆け上がる神事として奉納されてきましたが、大正9（1920）年4月、「上げ坂」は石垣隈太郎によって現在の場所へと20mほど移されました。しかし、南から北への方向は変わったわけではありません。今年の大社祭は「上げ馬神事」は中止され馬曳きとなり、乗り子は「上げ坂」に向かい深く「一礼」を行いました。

この一礼こそ「気場」への畏敬の念と感謝を表すものです。

〈気場から生まれた偉人〉

関東大震災から百年を迎える今年、石垣隈太郎翁が注目されています。大正12（1923）年9月1日、未曾有の震災に襲われ、壊滅的な被害にあった被災地に、隈太郎は巨額の寄附を行いました。また、東京に建てた「三会堂ビル」を基盤に産業の復興に尽力するとともに、東京赤坂の自宅まで「困っている方々に使ってもらってください」と差し出しました。

「日本の水産王」といわれ巨額の富を築いた隈太郎ですが、「世のため人のため」にその富と私財を吐き出したのです。歴史上このような人はどこにもおりません。そして隈太郎は「起業家の神様」と称されるようになりました。

古代の方々が結んで行かれた聖なる線。ここからは、他にも後世に伝えたい多くの偉人が生まれています。

活動このごろ

員弁東部吟詩会

令和5年度吟道関心流三重県本部総会
新年度役員総会
1月8日(日)
於　三重県教育文化会館

箏曲麗明社「廣翔会」

19回新春六華苑祭
1月22日(日)13時～
於　六華苑和館一の間

毎年恒例の「新春六華苑祭」が六華苑で開催されました。

今回も「廣翔会」は参加し、子どもたちは、「さくらさくら」、「たなばたさま」、「通りゃんせ」、「花筏」を演奏しました。

大人は「ふるさと・21」を箏三重奏で合奏できたので良かったです。

どの曲も皆さんご存知の曲で楽しく演奏できました。

笹尾吟詩会

資格認定研修会
2月26日(日)、4月30日(日)
於　四日市市中部地区市民センター

それぞれ資格別の課題詩を指導していただきました。

茶道裏千家(菅野宗敦)

春の大茶会
3月12日(日)10時～15時
於　東員町総合文化センター 1階和室

先の見えなかったコロナもやや下火になりかけた三月、和室にて少し野点の雰囲気を出しながら、人数制限のある中ゆっくり楽しんでいただける茶会となりました。

ご来場下さいました方々、関係者の皆様のお蔭で無事終えました事に感謝申し上げます。

菅野宗敦

笹尾民踊クラブ＆なでしこ虎の会

名古屋・民踊まつり
3月24日(金)～26日(日)
3月25日(土)
於　日本特殊陶業市民会館

60回記念大会となりました。一番の喜びは、全国から集う通常のお客様とのふれあいの発表会で踊りの輪が広がり、大きな人との和が3日間続いたことでした。

踊れることの喜びを笹尾民踊クラブも痛感しての大会でした。

活動このごろ

陶芸第一クラブ

令和5年度みえ文化芸術祭
5月20日(土)～6月4日(日)
於　三重県総合文化センター

第73回県展（工芸部門）に２人が応募し、見事入選を果たしました。

“我、自慢の花器”で応募した池田文夫（今年95歳）さんは、初の応募で入選を果たし私達に大きな希望を与えてくれました。

また、松野宏作“危機迫る奇跡の星”再生なるか地球（ふるさと）は、近年の温暖化に伴う環境変動に対する危惧を表現した作品です。

洋裁サークル・マミー

15Years of 洋裁サークル・マミー作品展
5月18日(木)～5月21日(日)
於　東員町総合文化センター2階展示室

サークルのメンバーの作品約130点を展示し、4日間で375名の方に来場いただきました。ウエディングドレスや洋服、子どもの服の他シルバニア、ジーンズ1本で作る熊のぬいぐるみ等を展示しました。

菊水流詩舞東員クラブ・民謡寿会

笹尾睦会主催
3月誕生会　3月5日(日)13時～15時30分
7月誕生会　7月16日(日)13時～15時30分
於　笹尾コミュニティセンター

笹尾睦会は笹尾西・東地区の老人会です。4ヶ月毎に誕生会を開催し、会員の芸能発表の場です。

カラオケ・舞踊・詩吟・民謡・詩舞等で出演者、観客含め毎回50～60人ほど参加して親睦をはかっています。

7月の誕生会は菊水流詩舞と民謡寿会のコラボで「武田節・詩吟入り」を演じました。

書芸八千代会

’23　八千代書道展
6月17日(土)10時～17時
6月18日(日)10時～15時30分
於　くわなメディアライヴ

桑名市中央町のくわなメディアライヴで八千代書道展を開催しました。

書芸八千代会の講師や受講生らがさまざまな書体の作品110点を展示しました。

バトンメイツフェニックス

第18回三重県バトントワーリング大会
7月8日(土)
於　ヤマモリ体育館(桑名市体育館)

第48回バトントワーリング東海支部大会
7月16日(日)17日(祝・月)
於　ガイシホール

両大会とも、感染症対策をされたうえで、有観客で開催されました。選手は、練習の成果を十分に発揮し、笑顔で最後までがんばりました。支えていただいた方々に感謝し、次に向けて練習していきます。

活動このごろ

東員囲碁同好会

第35回中日新聞社楯争奪東員町囲碁大会

7月2日(日)午前10時～午後3時30分
於　東員町総合文化センター

参加者　108名
試合方法　スイス方式により一人四局対決

成績結果

クラス別	順位	氏名	市町名
Ｓクラス（六段以上）	優勝	島田　春喜	四日市市
	準優勝	出口　和弘	いなべ市
	三位	木村　吏志	松阪市
Ａクラス（五～四段）	優勝	平野　昭一	弥富市
	準優勝	林　清文	鈴鹿市
	三位	平野　俊郎	桑名市
Ｂクラス（三～二段）	優勝	寺内　昭	東員町
	準優勝	近藤　孝	東員町
	三位	杉浦　敏夫	東員町
Ｃクラス（初段・級位者）	優勝	中村　正一	鈴鹿市
	準優勝	伊藤　敏一	津市
	三位	武田　康夫	四日市市

楽絵筆・中部短歌会東員支部

第2回絵画と短歌の調べ展

副題　第15回楽絵筆グループ展　中部短歌会東員支部発表会

7月12日(水)～16日(日)
於　東員町総合文化センター2階展示室及び展示コーナー

昨年に続き、楽絵筆と中部短歌会東員支部の合同で開催。

短歌を描いた絵画や、絵画を詠んだ短歌を組みにして展示。

それぞれの絵画、短歌からの解釈の妙が楽しめた。更に、日頃書き溜めた水彩画の発表も行った。(楽絵筆)

開催にあたり楽絵筆の皆様に大変お世話になりました。

短歌と絵画が、1＋1＝2以上の深みを持たせ、詠み手の方々の心に響きながら、作品に触れて頂けた様でした。

(中部短歌会 東員支部)

岡田水彩画グループ ぐるーぷ美茂座

定例「ぐるーぷ美茂座」作品展

7月5日(水)～8月2日(水)
於　笹尾コミュニティセンター

毎年1回、定例講座の成果を発表する「ぐるーぷ美茂座」独自の作品展。今回は会員一人1点から2点展示で総計13点の作品を発表。

令和5年度 賛助会員

（令和5年7月31日現在）

ご支援ありがとうございます

法人賛助会員（地区別50音順）

穴太
伊藤土建㈱
医療法人 大仲会 大仲さつき病院
㈱巧建社
医療法人 康誠会 東員病院

大木
岩田歯科医院
杉山金属㈱
豊通ヴィーテクス㈱

笹尾西
㈱あっとほーむ

笹尾東
㈱リード・ガイロビカ

城山
㈲中部キカイサービス
モリワキ薬局
和気国際特許事務所
のじり内科消化器内科

瀬古泉
㈲廣嶋製作所

鳥取
桑名三重信用金庫 員弁支店
みやざわ歯科医院

南大社
一色建設㈱
㈲中山モータース

山田
㈱ADEKA 三重工場
カフェレスト㈱ ラフィーネ
大起産業㈱
㈱みつわポンプ製作所

六把野新田
美容室 APPEAR
伊藤商事㈲
岩花内科
宅老所 紫苑
みどり歯科医院

その他（三重県）
（一社）いなべ市観光協会
音楽堂楽器
㈱カキトー
共栄堂印刷㈱
㈱山水園
㈱タチバナ製作所
八風バス㈱
三重県舞台管理事業協同組合
三重交通㈱桑名営業所
屋根と住まいの工房
茶道具 遊芽屋
㈱レイステージ桑名

その他（愛知県）
堀田新五郎商店

個人賛助会員（50音順）

石垣智矢
伊藤治雄
伊藤真実子
岩佐力（克子）
大井弘久
大倉美里
大谷勝治
岡野譲治
小川明宏
片松雅弘
加藤八重子
川松由喜子
川瀬隆一
島田正彦
田中正徳
種村均
中村等
中山万千代
南部まり子
南部豊
日置幸嗣
平野義人
広田久男
三浦信一
三宅徹也
水谷隆
水谷喜和
山崎まゆみ
山田昌信
山本陽一郎
渡辺良男

中部短歌会　東員支部　詠草十二首

○後悔も未練もみんな知っているブーツのかかと少し傾く　中村トミコ

○事もなく揃い集える三世代おだやかに明く東雲の空　山田百合子

○初恋の人を未だにじゅくじゅくと訴う友は四人の子持ち　杉本まゆみ

○やりたい事リストに書きてながむれば行きたい所リストになりぬ　加藤　貴代

○就活で一の未練は写真なり思い出手繰り前に進まず　宮永　洋子

○生まれた日、一と二だけの夫とわれ「あんたら縁や」母大笑い　三田　祐子

○みれんとは我には縁のなきものよ過去を思えど何も出て来ず　松本美江子

○五十年時を戻して語り合い心のしわの伸びたと友は　武本美千代

○試着室セーター選びもれる声四歳児らは鏡とトークす　山田由紀子

○女人などとうに過去なる私に静もり深き室生寺の段　川合　孝子

○水色の涙マークが添えられて異動の内示がＬＩＮＥに届く　小森　逸子

○どや顔の上司の「浪曲子守唄」出て宴会の御開き近し　冨田　博一

しゃくやく俳句会

バンドゥーラ聞きゐる真夜の開戦日　国枝　隆生

自註　季語の開戦日は十二月八日。バンドゥーラはウクライナの歌姫が奏でている民族楽器。ウクライナ侵攻が止む気配のない開戦日にバンドゥーラの曲を何度も再生して聴いた。

かろやかな湿原の風しでこぶし　国枝　洋子

自註　菰野町の湿原に天然記念物の幣辛夷の群生があると聞いた。花の盛りに夫に連れて行って貰った。うすもも色の花々が風に吹かれる様は美しく夢のようであった。

夏蚕買ふ匂ひの村を通りけり　水谷　仁士

自註　四十年前に大安町を通りました。蚕を飼う糞の臭い匂いがいつまでも残りました。子供の時に家で飼っていた頃は臭いと少しも思いませんでした。

秋燕碧羅の天を深く切る　荻野　恵子

自註　燕の飛翔は素早く、空へ切り込むようだ。秋の旅立ちの逸る心なのか、群れた燕は頭上を何度も翻っていた。思わず目で追ってしまう。

第56回 東員町文化祭

期間　令和5年10月28日(土)～
11月５日(日)

場所　東員町総合文化センター

※10月31日(火)は休館日です。

町民の皆さんや公民館講座受講生、(一社)東員町文化協会会員などの作品展示と様々な文化活動の発表を行います。

また学校作品展として小学生・中学生の作品も展示されます。

お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

■主催　東員町・東員町教育委員会
■主管　一般社団法人 東員町文化協会
■お問い合わせ　(一社)東員町文化協会　☎76－7711

オープニング式典

10月28日(土)

時　間　13：00～
場　所　東員町総合文化センター 玄関前
＊式典終了後、箏曲麗明社「廣翔会」による箏の演奏

作品展

期　間　10月28日(土)～11月５日(日)
10月31日(火) は休館
前　期　10月28日(土)～11月１日(水)
後　期　11月２日(木)～11月５日(日)
時　間　9：00～17：00(各期とも初日は13：00～最終日は15：30まで)
場　所　東員町総合文化センター 特設展示場

展示内容
●一般応募と文化協会会員作品
絵画・陶芸・短歌・俳句・書道・生花
服飾・手芸・工芸・写真・その他
●公民館講座卒業作品
(展示内容は作品応募状況により変更になる場合があります)

学校作品展

期　間　10月28日(土)～11月５日(日)
※10月31日(火)は休館
時　間　9：00～17：00
場　所　東員町総合文化センター 特設展示場

大茶会(抹茶)

文化協会自主事業

日　時　11月５日(日)10：00～15：00
場　所　東員町総合文化センター
１F第２研修室（和室）
参加費　茶券　一般　500円
18歳以下　300円
(前売券は文化協会事務局で販売) 当日券あり

囲碁大会

文化協会自主事業

日　時　10月15日(日)10：00～
(受付9：00～)
場　所　東員町総合文化センター内
参加費　一般　2,000円
文化協会会員　1,000円
高校生以下　1,000円
(昼食付、当日会場でお支払いください)
問い合わせ先　平田☎090-4183-2725

(広報委員)
編集担当　川松　由喜子　木村　真由美
山田　由紀子　平野　義人
ホームページ担当　照井　亮平

発行　一般社団法人 東員町文化協会
三重県員弁郡東員町山田1700
東員町総合文化センター内
TEL 0594-76-7711
FAX 0594-76-2888
E-mail info@toin-ca.org
https://www.toin-ca.org

印刷：冊子印刷ドットコム

編集後記

令和5年度は、国内の経済活動が徐々に戻り、文化協会の事業活動や加盟団体（構成会員）や個人会員の皆様方の文化活動も4年前の盛況に近づきつつあります。さて、現在東員町文化協会では、社会のデジタル化に対応して、今年度の総会で議決していただいた「総会の議決権行使」を従来の葉書（委任状）に加えて電子でも行えるように準備しています。会員の皆様方のご理解とご協力を頂きますようにお願い申し上げます。

平野　義人